



岩手県 普代村 議会

No. 165

令和3年11月1日発行

議会だより

さだ

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。

一緒に考えよう、この村のカタチ。

9月29日 ぶだいまつり下組

定例会で決まった議案等	2頁～3頁
定例会での議案質疑	4頁～5頁
決算特別委員会での質疑	6頁～9頁
一般質問（4議員が村政を問う）	10頁～13頁
第6回臨時議会	14頁
議会の動き	15頁

ふるさと応援基金積立金など
3億3,699万6千円を増額補正!



全国の皆さまからたくさんのふるさと納税寄付金をいただいています

村議会第7回定例会（9月定例会）が9月15日から開会しました。内容は、令和5年度の一般会計と普代村国民健康保険診療施設特別会計の補正予算、教育委員会委員の任命同意など4議案を審議し、全員賛成で原案可決しました。また、令和4年度一般会計および各特別会計決算の認定は、7会計とも全員賛成で認定しました。内容は次のとおりです。

一般会計
補正予算

補正予算で3億
3,340万4千円増

▽令和5年度一般会計補正予算（第4号）
歳入歳出に3億3,340万4千円を増額し、総額で43億852万4千円としました。歳出の主なものは、ふるさと応援基金積立金1億6千万円、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業1億248万円、集会施設太陽光発電システム整備事業586万6千円、青の国観光ガイドブック

等作成業務委託料250万円、村道補修工事費230万円、村道黒崎3号線道路改良詳細設計業務委託料550万円、競技チアリーディング大会参加補助金30万円などを増額しました。

設計業務委託料は、黒崎3号線道路の道幅が狭く詳細な設計を要する部分を委託します。

ふるさと応援基金積立金は、ふるさと応援寄付金と同額を積立します。ふるさと納税を活用した地域産業促進事業は、ふるさと納税の増額による返礼品や送料などの事業費です。青の国観光ガイドブック等作成業務委託料は、青の国ガイドブックの掲載内容の更新などです。村道補修工事は、村道小谷地鳥居線道路法面復旧に係る工事を行うものです。村道黒崎3号線道路改良詳細

茂市地域活動拠点施設へ太陽光発電システム（太陽光パネル410W×12基、蓄電池システム16・4kw×1基。）を設置する新規の事業となっています。

10月に福島県で開催される競技チアリーディング大会に参加する経費の一部を助成します。

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和5年度 普代村一般会計補正予算（第4号） 補正額3億3340万4千円を増額し、歳入歳出予算の総額を43億852万4千円とするもの。歳出では総務費で、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業で1億248万円を増額、集会施設太陽光発電システム整備事業で586万6千円を増額。 農林水産業費では、漁港漂流物運搬処理業務で130万3千円の増額。 商工費では、青の国観光ガイドブック等作成業務委託料で250万円の増額。 土木費では、村道補修工事（村道小谷地鳥居線道路の法面復旧）230万円と村道黒崎3号線道路の詳細設計業務委託料で550万円の増額。	可決 (全員賛成)
議案第2号	令和5年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号） 補正額359万2千円（医科133万8千円、歯科225万4千円）を増額し、歳入歳出予算の総額を1億9846万5千円（医科1億2273万円、歯科1億9846万5千円）とするもの。 応援医師報酬や会計年度職員1名採用分、地下タンク貯蔵所修繕費の増額など。	可決 (全員賛成)
議案第3号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 現教育委員の退任に伴い、大村克伸氏（太田名部）を新たに任命することに同意を求めるもの。任期は令和5年10月1日から2年間。	同意 (全員賛成)
議案第4号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 任期満了に伴い、現教育委員会委員熊谷榮子氏（堀内）を再任することに同意を求めるもの。任期は令和5年10月1日から4年間。	同意 (全員賛成)
認定第1号	令和4年度 普代村一般会計歳入歳出決算の認定	認定 (全員賛成)
認定第2号	令和4年度 普代村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第3号	令和4年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第4号	令和4年度 普代村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第5号	令和4年度 普代村休養施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第6号	令和4年度 普代村漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第7号	令和4年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計歳出決算の認定	
報告第1号	令和4年度 普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率	—
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること 岸里喜美子氏（堀内）の推薦について。任期は令和6年1月1日から3年間。	適任 (全員賛成)

人事

新たに教育委員に大村氏
現教育委員の退任に伴い、大村克伸氏（太田名部）を全員賛成で新たに任命することに同意しました。
任期は、令和5年10月1日から2年間です。

教育委員に熊谷氏再任
任期満了に伴い、熊谷榮子氏（堀内）の任命に関し、全員賛成で再任することに同意しました。
任期は、令和5年10月1日から4年間です。

議案の質疑

議案第1号

黒崎3号線道路改良の内容は

大上智 議員



問 村道黒崎3号線改良工事の詳細設計の内容を伺う。

答 大村建設水産課長

黒崎3号線の入口付近が狭く、緊急車両が進入不可能な部分の詳細設計を地区の強い要望もあり行うものである。



黒崎3号線

議案第1号

特定小型原動機付自転車の登録台数を伺う

森田幸一 議員



問 現時点で特定小型原動機付自転車いわゆる電動キックボードの登録はあるのか。

答 松葉税務出納課長

令和5年7月1日から道路交通法が改正され、電動キックボードにもナンバープレートをつけることとなり、市町村でナンバープレートを交付するもの。今現在のナンバープレートの交付は0件となっている。



電動キックボード

議案第1号

スポーツ団体等への助成について

松葉明人 議員



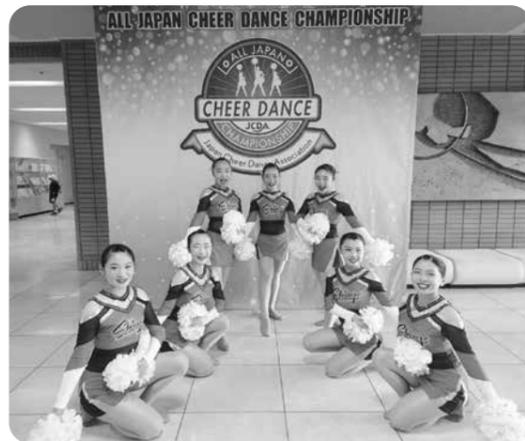
問 競技チアリーディング大会参加補助金大いに結構なこと、今後も続けるのか。

答 高井教育次長

要望などを受けて、内部で検討をして予算化する。

答 三船教育長

「一生懸命取り組んで、より難度の高いチアに取り組みたい。」そういうチャレンジする子どもたちをぜひ応援してやりたい思いで、今回の補正予算に計上した。



新たなチャレンジへ

議案の質疑

議案第1号

ふるさと納税の人気返礼品は

嵯峨典行 議員



問 ふるさと納税の中での金額の大きかった人気の返礼品（比率）は。また、今年の不作為不漁が見込まれる中での対策を伺う。

答 佐々木政策推進室長

生ウニ関連が2億3,000万円で45%、イクラが9,000万円の18%、松茸が4,000万円で9%、この主要3品目が3億6,000万円で全体の7割を占めている。今年の不作為不漁が見込まれる中では丁寧な対応をして昨年並みを目指して対策を考える。

議案第1号

道路にかかる木の枝などについて

大上浩史 議員



問 グリーンロードのうねとり荘から白井にかかる道路の整備について伺う。

答 大村建設水産課長

グリーンロードは村道で、村の管理。交通に支障がある場合は村で伐採等の処理をする。他の村道も含め、地権者から了解をもらいながら順次進めていく。

枝等が出ていると危険になります
(グリーンロード)

議案第1号

10月からのふるさと納税ルール変更への対応は

中上一登 議員



問 ふるさと納税返礼品の経費ルールが10月から事務費等含めての50%以内となるが普代村の対応・対策を伺う。

答 佐々木政策推進室長

削減・圧縮できるものを再精査して対応予定である。ふるさと納税の運営自体は、委託発送業務以外は村の直営で行っているためルールを超えない運用ができると考えている。

議案第1号

太陽光発電システム整備事業を

金子泰男 議員



問 太陽光発電システム整備事業を各地域の集会所に整備できないか。また、今後の取り組み状況を伺う。

答 佐々木政策推進室長

今回の茂市地区を費用対効果を含めた検証施設として整備し、各地区に設置を進めていく必要がある。今後も計画的に順番、規模等と予算も含めて検討を深めていく。

今年度太陽光発電システムを整備予定の
茂市地域活動拠点施設



森田 幸一 決算特別委員長

令和4年度の決算を認定

村政のさまざまな分野で活発な意見

決算特別委員会（森田幸一委員長・委員8人）は9月19日から行われ、令和4年度の一般会計決算と6特別会計の総額53億6,283万3千円を審査しました。村政のさまざまな分野で質疑が行われた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

監査意見

効果的な行政運営を

和久喜美男 監査委員
松葉 明人 監査委員

一般会計と特別会計の決算総額は、歳入52億6,246万円、歳出51億5,452万円で、前年度に比べ、歳入で5・11%の減、歳出は4・72%の減となっている。主な要因は、令和元年台風19号災害に係る災害復旧事業の減によるものである。

村の財政は、厳しい財政状況が続いているが、令和4年度は、特別交付税9,329万9千円が交付され、地方交付税は総額で17億2,845万7千円となり、前年度に比べ1・09%の増となった。本年度は、物価高騰対策地域商品券給付事業、ふるさと納税を活用した地域産業促進事業、浸水対策ポンプ設置事業、沢漁港漁村再生交付金事業、台風第19号被害にかかる公共土木施設災害復旧

一般会計と特別会計の決算総額は、歳入52億6,246万円、歳出51億5,452万円で、前年度に比べ、歳入で5・11%の減、歳出は4・72%の減となっている。主な要因は、令和元年台風19号災害に係る災害復旧事業の減によるものである。

工事等が実施された。翌年度へは1億574万4千円を繰り越している。実質公債費比率については、起債現在高も多額であり、公債費負担適正化計画に基づき地方債の借り入れ抑制等をした結果、9・1%で前年度の9・4%を0・3ポイント下回っている。一般会計予算の歳入の40・10%を占める地方交付税は、今後増加は期待できず、厳しい財政状況が予想されるが、村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮することも、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

ふるさと納税寄付金を活用した地域産業促進事業（政策推進室担当） 2億9,270万円

ふるさと納税寄付金の推進を図り、村内産業の活性化に寄与することを目的として村特産品贈呈の運用を開始し、現在11サイトで運用を行っている。また「株式会社青の国ふだい」へ一部業務を委託している。



返礼品1番人気の生うに

普代川治水対策上区地区排水ポンプ設備工事（建設水産課担当） 2億4,109万円

浸水対策として、大雨が降った際に雨水を普代川に排水するポンプの土木工事及び電気機械工事を実施した。



外構工事はR5年度に実施

物価高騰対策地域商品券給付事業（政策推進室担当） 6,158万円

コロナ禍において原油価格・物価高騰のあおりを受ける全村民に対し、生活支援及び地域活動循環を目的として地域商品券を2回給付した。1回目1人1万円、2回目1人1万5千円。

沢漁港漁村再生交付金事業工事（建設水産課担当） 1億181万円

沢漁港北防波堤、北護岸を嵩上げすることで、港内への越波を防ぎ安心して漁船を係留することができると共に、既存の泊地や船揚場等への安全性や利便性の向上を図る。

そのほかの事業（内容）

子ども園運営事業（幼児47名）	7,142万円
新魚市場建設実施設計業務（設計書や図面の作成）	4,506万円
学校給食事業（給食材料費、児童・生徒の学校給食費無料化等）	3,672万円
地域おこし協力隊受入事業（総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用）	2,545万円
宿泊体験レビュー事業（宿泊助成）	2,481万円
国立公園利用拠点整備支援事業（低位置照明、階段ベンチ等）	2,037万円
通学バス運行事業（通学バス4台に係る経費、通学バス1台取得）	1,995万円
災害後方支援拠点広場整備事業（設計委託及びR4年度分の工事）	1,338万円
移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業（受入者の伴走支援等）	1,222万円
いわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業（児童手当を受給する世帯）	1,185万円

令和4年度決算総額53億円!! 主な事業をピックアップ

次のページから

「一般質問」

村の課題を熱く議論!

9月定例会の一般質問には、4人が登壇し、村の課題などに村当局の考えを問いました。村議会では「一問一答方式」で、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。

質問者と内容

10分
なかみ かずと
中上 一登 議員

- ① お墓の管理について
- ② メモリアルホールの整備を
- ③ 村の水産業の展望について

11分
おおかみ さとし
大上 智 議員

- ① 4期目の政策・施策
- ② 地域おこし協力隊受け入れ事業及び移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業

12分
まつば あきひと
松葉 明人 議員

- ① 新たな漁業の在り方について
- ② 廃校となる予定の校舎の利活用について

13分
さいとう まさあき
齊藤 正明 議員

- ① 地産地消の取り組みについて
- ② 加齢性難聴者への対応と補聴器購入助成を

○一般質問
一般質問は、本会議で議員が執行機関である村長などに対し、村政全般に関する事務の執行状況、村政の方針などについて質問し、報告・説明を求めるものです。
一般質問は3月、6月、9月、12月の定例会に限り認められています。

決算特別委員会での質疑

農林水産業費
まついそ公園管理委託について
嵯峨典行 委員 

問 まついそ公園管理委託料の委託先と仕事内容を伺う。

答 大村建設水産課長
堀内の漁師組合に鍵を渡し管理委託している。仕事内容は、トイレ掃除、草刈り、ごみ拾いなど。毎日1～2時間程度実施している。



堀内の漁師組合に委託しています

農林水産業費
漁業近代化資金利子補給補助金
齊藤正明 委員 

問 漁業近代化資金利子補給補助金の関係について、平成26年度から令和4年度までの借入れ件数と内容を伺う。また、新規漁業者の借入れも該当になるか伺う。

答 大村建設水産課長
平成26年度から令和4年度までは11組になる。内容は、7組はエンジン交換、オーバーホールなどで、4組はレーダー、漁業倉庫など。また、新規漁業者、漁家子弟の同資金借入れに対しても、信漁連の審査を経たのち対象となる。

決算特別委員会での質疑

総務費
消費者救済資金貸付金について伺う
古沼和也 委員 

問 消費者救済資金貸付金の内容と普代村の現状について伺う。

答 道下住民福祉課長
県内すべての市町村が参画している制度で、消費者信用生活協同組合が実施している。消費者金融などで多くの債務を抱える方が、債務整理のため債務を一本化する制度への預託金となる。本村の状況は、新規の貸付実績はないが、これまでの継続の案件で令和4年度末時点1件、残高は約20万円となっている。

総務費
地元の人が地元に住める状況づくりを
中上一登 委員 

問 住宅・宅地造成による村外からの移住受け入れ促進も大事だが、地元の人が、地元に住める状況をつくることも大事では。

答 証屋伸夫村長
住宅部分の取り組みの必要性は認識しているところである。元村地区に購入済みである村有地、旧堀内小学校空き地等も活用した、住宅造成を含めた、総合的村づくりの準備に取り組みたいと思っており、ご理解いただきたい。

衛生費
親子すくすく成長事業は
大上浩史 委員 

問 親子すくすく成長事業に関して、対象となる世帯の加入状況と事業内容を伺う。

答 道下住民福祉課長
幼児期における成長を促進させる教室。親子で一緒に発達を促すための体操と、いろいろなゲームを交えた教室を開いている。参加者は親子で5組程度、多い時には10組弱の方々に参加し、年8回ほど教室を実施している。予算は村単独の事業となっている。

総務費
早期の自主防災組織の設立を
大上智 委員 

問 避難場所での、災害発生後を想定した対応訓練においても、各地区の自主防災組織の設立を早く必要があると思うが対応を伺う。

答 川向総務課長
設立の足掛かりとして、本年度海岸端地区で防災マップ勉強会を開催した。いろいろな財源等活用しながら整備・研修を進め、組織結成を促していく。

民生費
非課税世帯の詳細の把握を
金子泰男 委員 

問 住民税非課税世帯に対する臨時特別給付について、年金生活の方や、働いても課税対象にならない世帯の割合を伺う。

答 道下住民福祉課長
大まかな数字ではございますが、住民税非課税世帯400世帯の中で、300世帯が、年金生活者高齢者世帯の非課税世帯。その他の100世帯が年金生活ではない非課税の世帯と捉えている。
今後は、実態を把握するよう努めていく。



中上一登

社会情勢の変化などによりお墓の管理に不安を抱えている。増えてくる無縁墓対策を

今後の動向を注視し、情報収集しながら研究検討する—— 榎屋村長

質問 お墓の管理について、行政で管理する宮古市のような合葬墓あるいは共同墓地はできないのか村長の見解を伺う。

答弁 榎屋村長 妙相寺において、合同墓地（合祀墓）の年内建立を進めているとのことであった。従って、今後の墓じまいの件数や無縁墳墓化の動向などを注視しながら、併せて自治体運営の合葬墓における埋葬方法や供養の仕方などいろいろあるので、検討してまいりたいと考えている。



全国で広がりつつあります（神戸市）

質問 メモリアルホールの整備を

質問 以前に村長の提案にあった、メモリアルホールについて野田村のような方式で村が運営して村民に提供するという事は可能かどうか、その後検討はされていないのか伺う。

答弁 榎屋村長 年間の利用件数を40件と見込む中で、改修費やランニングコストなどを



野田村のセレモニーホール

の試算から大幅な採算割れという事で誘致にはいたらなかったところであった。村民全体の利便の事、財政負担の事を議論しなければならぬと承知している。議会と相談などをし、取り組んでまいりたい。

質問 荷捌き施設の必要性は漁家の皆さんに周知されているのか伺う。

答弁 榎屋村長 漁協・漁業者・仲買人などで構成する検討委員会において整備の必要性などを含めた検討・協議を行っている。

質問 漁家に対する将来性について漁協や関係者との協議はされているのか伺う。

答弁 榎屋村長 漁協・漁業者・村などがタッグを組んで、浜の活力再生プランなる計画を本村でも平成26年度と令和4年度に策定をし、この実践にも取り組んでいる。

質問 漁家の収入アップの方向性について県や政府への要望を沿岸首長で強く進めていくという方向性はないのか伺う。



大上智

4期目における村政政策決意は

村内経済の好循環を呼び戻したい—— 榎屋村長

4期目の政策・施策

質問 産業経済の活性化・人口減少への具体的政策を伺う。

答弁 榎屋村長 新魚市場を活かし、浜の活力再生プランの実践のもと、地場産業全般の担い手確保、稼げる観光拡大で村の元気再生を図るとともに、人口減少問題に対しては、働きやすく、住みやすく、子育てしやすく、安心して暮らせる村の魅力づくり、施策の総動員をもって取り組むたい。

質問 住宅・宅地不足に対する施策を伺う。

答弁 榎屋村長 上区・緑区の村有地約1,750坪の宅地を村営住宅、民間賃貸住宅建設用地、移住定住者用地として活用したい。

質問 安心して子育てできる所得を得られる仕事の確保について伺う。

答弁 榎屋村長 近隣市町村と協力しながらの広域全体での企業誘致、地場産業の魅力アップが着実に取り組まれるよう努める。

質問 地場産業における担い手育成補助策を伺う。

答弁 榎屋村長 国・県・村において、それぞれの産業に対して担い手育成の補助・支援策が用意されている。一層の補助・支援制度の周知を図り、伴走支援に努める。

質問 「はまゆり子ども園」と「つちのこ保育園」の交流は実現しているのか伺う。

答弁 高井教育次長 はまゆり子ども園、つちのこ保育園、小学校職員で構成されている「幼少連携研究会」の中で、お互いの情報交換を行っている。

質問 村経済の活性化のため、各経済団体との懇談会は必要不可欠と思うが。

答弁 榎屋村長 各産業団体に出向いての懇談会も、今後検討して参りたい。



自然の中で遊ぶ子どもたち

質問 地域おこし協力隊受け入れ事業及び移住者誘致と持続可能な近代村の創出事業

質問 協力隊受け入れ事業での累計受入者隊員数、中途除隊隊員数、任期満了後の定住者数を伺う。

答弁 榎屋村長 平成26年度から実施しており、現在まで累計で17名、中途除隊隊員数

質問 移住してもらいながら、同事業における定住に結び付く中身・実績が見えてこないが。

答弁 榎屋村長 関係者による取り組みの課題、今後の方向性等々についての報告は頻りに受けており、前進を感じている。すぐに成果を求めず取り組んで参りたく、ご理解・ご指導もいただきたい。



松葉明人

新たな漁業の在り方について

漁協等と一緒に考えて検討したい
榎屋村長

質問 県や村漁協との新たな漁業を考える勉強会など、開催する考えを伺う。

答弁 榎屋村長 開催をできればと思っています。どんな新しい漁業なのか、事前に検討し県や、漁協、漁家の皆さんに呼び掛けるスタンスで取り組んでいかなければならないと考えています。漁家の皆様、企業、商社などがあるいろいろな考えを具体的に教えていただければ、開催に向けた工夫もしていけるので、よろしくお願ひしたい。

質問 サイモンの養殖やアワビ・ウニの蓄養などは出荷までに3年から4年かかると言われている。そこで試験的な養殖などに支援をする考えがあるか伺う。

答弁 榎屋村長 どこでとか手法とか、規模といった事によって、検討をしていかなければならない。広がりとか、どの程度の漁業者が絡むものとか、そういった

事での助成支援を考えていかなければならないと思っ
ている。現在、新規事業支援（条件付き）として上限100万円の補助がある。

質問 東京電力福島第一原子力発電所の処理水海洋放出の村内漁業関係者への風評被害が心配されるが、その対策を伺う。

答弁 榎屋村長 風評被害への対策については、本村独自の風評被害対策といったのは非常に難しい面等々もあり行っていない。情報収集にあたり、振興局や漁協と一



関係者一同で太田名部漁港衛生管理型荷さばき所建設工事の安全祈願祭を行いました

質問 令和9年義務教育学校開校後、現在の普代小学校・普代中学校の活用について

答弁 義務教育学校は予定通りに進めば、3年7カ月後の令和9年4月に開校となる。そこで、開校後の普代小・中学校の校舎約1500坪、体育館約500坪、校庭約3750坪の活用についての計画



現普代中学校

は立てているのか伺う。

答弁 榎屋村長 公共施設等総合管理計画を策定している。令和4年3月改定のこの計画では、現在の小中学校については、義務教育学校が新設される。とだけしており、小中学校の活用計画は現在はない。これは全部同時に撤去となるとは限らず、知恵を出し合っ、いろんな用途にも活用していくという事を模索していかなければならない。



齊藤正明

地産地消の取り組みについて

6次産業化の取り組みへの支援強化を
榎屋村長

質問 本村の地産地消推進の取り組みは具体的な取り組みと、意識が高まる効果はあったのか。

答弁 榎屋村長 学校給食センター・くろさき荘・包括支援センター・食改活動などの地場食材の活用、園児・児童・生徒の栽培・加工の体験、栄養教諭の食育指導そして「落合産直」や「道の駅」での直売を行っている。また、効果については、全体として、農林水産物の地元産への理解や、食の安全・安心への高まり、更には、新たな商品開発への意

欲などの向上に表れているものと考える。

質問 今後に向けて地産地消推進の取り組みは。

答弁 榎屋村長 6次産業化の必要性と民間の取り組みへの支援を強化できればと考えている。本村の食の魅力の発信強化のためにも、くろさき荘や福祉施設、飲食店などでの、一層の地場食材の活用拡大も図り、更には、体験観光への積極的な取り組みにより、本村の農林水産物発信の強化をし、消費拡大にもつなげていく。



地元産食材は道の駅でも販売しています

質問 「地産地消の推進」のために、条例制定し、取り組む考えはないか。

答弁 榎屋村長 普代村総合発展計画で地域資源を活かして地域経済システムを育てる取り組みとして基本方向を示している。条例化については、現段階では考えていない。

質問 高齢者の「聞こえにくい」の対応と補聴器購入助成を

答弁 榎屋村長 高齢者の「聞こえにくい」の対応については、聞こえにくい方の調査把握、聞こえの相談会の周知など、実態や必要なサービスなどを取り組んでいくべきと考える。今後の健康寿命の延伸を目的として、身体障害者手帳の交付とならない65歳以上の高齢者を対象に、補聴器購入費用の一部助成をする考えはないか伺う。

要介護認定の申請に係る聴力に関する調査があり確認・把握している。令和4年度の普代村分調査結果では、対象者125人のうち約半分の方が難聴を自覚している状況にある。

聞こえの相談会の周知や必要なサービスの取り組みについては、岩手県が実施する巡回相談会が年2回県内市町村を巡回し、補聴具の相談会や適合判断などを実施し、村の広報でも周知している。

議会の動き

(6月臨時議会・9月定例議会 諸報告より)

月 日	場 所	事 項	出 席 者
6月2日	役 場	村議会第4回定例会	中村議長、正路副議長、金子、大上浩史、大上智、古沼、松葉、森田、齊藤議員
		議会運営委員会	金子委員長、森田副委員長、大上浩史、大上智、古沼、松葉、齊藤委員、中村議長、正路副議長
		総務常任委員会	古沼委員長、森田副委員長、金子委員
4日	陸前高田市	第73回全国植樹祭いわて2023	中村議長、正路副議長、大上智産業経済常任委員長
5日	くろさき荘周辺	山田環境副大臣視察同行	中村議長
6日	盛岡市	県町村議会議長会臨時総会	中村議長
26日	役 場	議員全員協議会	各議員
		村議会第5回臨時会	各議員
28日	八戸市	令和5年度北奥羽開発促進協議会定例総会	正路議長
29日	役 場	令和5年度第1回ふだいまつり実行委員会	正路議長、古沼副議長
7月3日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
5日	宮古市	八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会 令和5年度要望活動	正路議長
6日	久慈市	久慈自動車学校創業60周年記念祝賀会	正路議長
7日	久慈市	岩手銀行会社説明会(サマーミーティング)	正路議長
	くろさき荘	第36回特用林産功労者表彰受賞祝賀会	古沼副議長
14日	普代浜園地	普代浜園地キラウミ安全祈願	正路議長
20日	上 区	普代の沢砂防事業完成式	正路議長
	役 場	議会広報常任委員会	大上智委員長、齊藤副委員長、松葉委員
21日	盛岡市	令和5年度国道281号整備促進期成同盟会総会	正路議長
25～26日	住田町	県町村議会議長会第1回政務調査会並びに政務調査会研修会	正路議長
27日	役 場	議会広報常任委員会	大上智委員長、齊藤副委員長、松葉委員
8月1日	久慈市	市町村からの県要望	正路議長、森田総務常任委員長、嵯峨産業経済常任委員長

月 日	場 所	事 項	出 席 者
8月4日	管理センター	戦没者追悼式	各議員
	役 場	議員全員協議会	各議員
8～9日	盛岡市	第54回町村議会夏季議員大学講座	8日 齊藤議員、9日 齊藤、松葉議員
8月10日	役 場	議会運営委員会	中上委員長、森田副委員長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、大上智委員、正路議長、古沼副議長
		村議会第6回臨時会	各議員
22～23日	東 京	三県合同中央研修会・岩手県選出国会議員との懇談会	正路議長、古沼副議長
28日	久慈市	久慈広域連合議会議員全員協議会	中上議員
31日	久慈市	第1回久慈広域連合議会臨時会	中上、森田議員
9月3日	久慈市	平庭闘牛大会しらかば場所	正路議長
11日	役 場	議会運営委員会	各委員、正路議長、古沼副議長
14日	盛岡市	第61回知事を囲む懇談会	正路議長

8/10 第6回臨時会

審議した案件は、令和5年度一般会計補正予算、令和5年度簡易水道特別会計・休養施設事業特別会計・漁業集落排水事業特別会計補正予算と、太田名部漁港衛生管理型荷さき所建設工事の請負契約の締結に関するものの、5議案を全員賛成及び賛成多数で原案可決しました。主な内容は次のとおりです。

▽令和5年度一般会計補正予算(第3号)

補正額2,376万1千円を増額し、総額39億7,512万円としました。

歳出では、人事異動に伴う人件費の調整と、村単事業費の増額が主なもの。

土地購入費(皆増)21万5千円、旧芦渡へき地保育所解体工事(皆増)912万円、休養施設事業会計繰出金(くろさき荘マイクロバス修繕料)45万円、村道補修等工事費3路線720万円の増額、準用河川沢川浚渫土運搬委託料(皆増)200万円、消火栓設備修繕工事(皆増)44万円の増額など。

▽太田名部漁港衛生管理型荷さき所建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めること
契約金額10億6,150万円 全員賛成で可決。

V O I C E
未来予想図 Fudai

みんなでサッカーをしたい!

きくち ゆうと
菊池 夢翔さん(12)

海がきれいで、自然がたくさんある普代村が好きです。

ぼくは、毎週金曜日に、フットサル教室に参加しています。キラウミの芝生の所で、みんなでサッカーがしたいのでサッカーゴールを設置してほしいです。

来年中学校になります。いろいろな事にチャレンジしたいので応援よろしくをお願いします。😊

夢は画家になることです!

みたち はると
三田地 春和さん(10)

ぼくは、絵を書くことが好きです。なので、もっと絵の練習をいっぱいして、上手くなって、有名な画家になりたいです。

ふ代村に絵の学びができるところがあるといいな、と思います。

それから、今年の夏にぼくは、地引きあみ体験をして、矢はば町の小学生たちと交流し楽しむことができたので、このような村外の人達も参加するたくさんの行事があって、みんなが仲良くなるような活動がしてみたいです。😊

広報委員からの返信



齊藤正明広報副委員長

普代浜園地キラウミは、白い砂浜とキラキラの海が最高のロケーションです。

問い合わせたところ、ゴールの設置は難しいとのこと。みんなで元気に遊んでください。

夢翔くん、いろいろな事にチャレンジすることは、新しいことに挑戦して、将来の夢の舞台への第一歩となることを大いに期待しています。



古沼和也広報委員

画家ですか、すてきな夢ですね。

私が教えたんですけど、ヘタなので教えられませんが村内に教える人がいれば私も習いたいです。

がんばって有名になって普代村で個展を開く日が来ることを楽しみにしています。

あ
と
が
き



先日はふだいまつりの大成功裡に終わり、新魚市場の起工式が行われ、これからのアワビ・魚の大漁を祈るところでございます。議会においても、当議会だより報告のとり9月定例会において、各議案について活発なる審議をおこなったところでございます。住民福祉の向上実現のため皆様の声を代弁する議会であります。今後審議される、来年度当初予算に対するご意見その他ご意見等ご意見にお寄せください。

(天上 智)

「議会だより」いかがでしたか?

紙面の関係で大まかな内容しか伝えられませんが、詳しくは、普代村のホームページから行政情報、普代村議事事務局、議事録とクリックしてみてください。また議員に聞いてください。よろしくお願います。

(松葉明人)

今年もあと二か月健康に留意して過ごしましょう。

発行責任者
議長 正路 正敏

議会広報常任委員会
委員長 大上 正明
副委員長 齊藤 明智
委員 古松 和也
委員 沼沼 和也

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

